

様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第1面）

| | |
|--|--------------------|
| 特別管理産業廃棄物処理計画書 | |
| 2025年 6月 17日 | |
| 堺市長殿 | |
| 提出者 住所 大阪府堺市堺区神南辺町1-31 氏名 堺工場長 勝村 秀和 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号072-232-3847 | |
| 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。 | |
| 事業場の名称 | 株式会社三宝化学研究所 |
| 事業場の所在地 | 大阪府堺市堺区神南辺町1-31 |
| 計画期間 | 令和7年4月1日～令和8年3月31日 |
| 当該事業場において現に行っている事業に関する事項 | |
| ①事業の種類 | 17：化学工業 |
| ②事業の規模 | 製品製造出荷金額700百万円 |
| ③従業員数 | 従業員81名 |
| ④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程 | 別紙参照 |

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図) 別紙参照

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

| | | | |
|-----|---|-------|--|
| ①現状 | 【前年度（令和6年度）実績】 | | |
| | 特別管理産業廃棄物の種類 | 引火性廃油 | |
| | 排出量 | 187 t | |
| | (これまでに実施した取組) 工程で使用する副原料の削減、洗浄溶媒の削減を行うとともに、廃棄物全般については、セメント原料、燃料化、リサイクル等有効利用できる処分業者に委託。 | | |
| ②計画 | 【目標】 | | |
| | 特別管理産業廃棄物の種類 | 引火性廃油 | |
| | 排出量 | 200 t | |
| | (今後実施する予定の取組) 発生する引火性廃棄物をセメント原料、燃料化として再利用してくれる処理業者に委託。 | | |

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

| | |
|-----|--|
| ①現状 | (分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 引火性廃油：発生する引火性廃油の内、外部処理委託する廃油を全て同じタンクに保管。 |
| ②計画 | (今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 引火性廃油：再生利用可能な廃油を分別保管。 |

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

| | | | |
|-----|---|------|---|
| ①現状 | 【前年度（令和6年度）実績】 | | |
| | 特別管理産業廃棄物の種類 | 強酸 | |
| | 自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量 | 10 t | t |
| | (これまでに実施した取組) 発生した強酸廃液全て自社内で中和薬剤として利用 | | |
| ②計画 | 【目標】 | | |
| | 特別管理産業廃棄物の種類 | 強酸 | |
| | 自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量 | 20 t | t |
| | (今後実施する予定の取組) 発生した強酸廃液全て自社内で中和薬剤として再利用 | | |

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

| | | | |
|-----------------------|--------------------------|---|---|
| ①現状 | 【前年度（令和6年度）実績】 | | |
| | 特別管理産業廃棄物の種類 | | |
| | 自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量 | t | t |
| | 自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量 | t | t |
| (これまでに実施した取組) 実績なし | | | |
| ②計画 | 【目標】 | | |
| | 特別管理産業廃棄物の種類 | | |
| | 自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量 | t | t |
| | 自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量 | t | t |
| (今後実施する予定の取組) 予定なし | | | |

| 自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項 | | | |
|--------------------------|---|-------|---|
| ①現状 | 【前年度（令和6年度）実績】 | | |
| | 特別管理産業廃棄物の種類 | | |
| | 自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量 | t | t |
| | (これまでに実施した取組) 実績なし | | |
| ②計画 | 【目標】 | | |
| | 特別管理産業廃棄物の種類 | | |
| | 自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量 | t | t |
| | (今後実施する予定の取組) 計画なし | | |
| 特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項 | | | |
| ①現状 | 【前年度（令和6年度）実績】 | | |
| | 特別管理産業廃棄物の種類 | 引火性廃油 | |
| | 全処理委託量 | 187 t | t |
| | 優良認定処理業者への処理委託量 | 187 t | t |
| | 再生利用業者への処理委託量 | 0 t | t |
| | 認定熱回収業者への処理委託量 | t | t |
| | 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者 | t | t |
| | (これまでに実施した取組) 処分委託する特管廃棄物については、全てセメント原料、燃料助剤、リサイクル再生利用等有効利用してくれる業者を選定。 | | |

| | | | |
|--------|---------------------------------------|-------|---|
| ②計画 | 【目標】 | | |
| | 特別管理産業廃棄物の種類 | 引火性廃油 | |
| | 全処理委託量 | 200 t | t |
| | 優良認定処理業者への処理委託量 | 200 t | t |
| | 再生利用業者への処理委託量 | 0 t | t |
| | 認定熱回収業者への処理委託量 | t | t |
| | 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 | t | t |
| | (今後実施する予定の取組) 現状のまま、特に新たな取り組み計画なし。 | | |
| ※事務処理欄 | | | |

(第6面)

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 8 ※欄は記入しないこと。